

令和元年度 病院事業決算状況

都道府県名 千葉県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	循環器病センター	2	香取市	香取おみがわ医療センター	20
-	佐原病院	3	大網白里市	国保大網病院	21
-	精神科医療センター	4	多古町	国保多古中央病院	22
-	がんセンター	5	東庄町	国保東庄病院	23
-	救急医療センター	6	横芝光町	東陽病院	24
-	こども病院	7	鋸南町	国保鋸南病院	25
千葉市	青葉病院	8	香取市東庄町病院組合	小見川総合病院	26
千葉市	海浜病院	9	組合立国保成東病院	国保成東病院	27
銚子市	銚子市立病院	10	国保国吉病院組合	いすみ医療センター	28
市川市	リハビリテーション病院	11	君津中央病院企業団	君津中央病院	29
船橋市	医療センター	12	君津中央病院企業団	君津中央病院大佐和分院	30
松戸市	松戸市立総合医療センター	13	長生郡市広域市町村圏組合(事業会計分)	公立長生病院	31
松戸市	福祉医療センター東松戸病院	14			
旭市	総合病院国保旭中央病院	15			
柏市	柏病院	16			
鴨川市	国保病院	17			
南房総市	南房総市立富山国保病院	18			
匝瑳市	国保匝瑳市民病院	19			

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	千葉県
				市町村・組合名	
				病院名	循環器病センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	22,000 m ²	指定病院の状況	救臨 災 輪		
診療科数	18	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	220	58.7	60.6	65.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	220	58.7	60.6	65.9
平均在院日数(一般病床のみ)		15.6	14.8	14.4

設立団体の状況		
人口(人)	6,222,666	
決算規模(千円)	1,655,110,824	
標準財政規模(千円)	1,063,461,359	
財政力指数	0.77875	
経常収支比率(%)	97.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.9
	将来負担比率(%)	140.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	62.3
修正医業収益(千円)	5,250,234

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,723,970			
1 経常収益	7,381,164			
(1) 医業収益	5,415,524			
入院収益	4,256,817			
外来収益	938,192			
診療収入計	5,195,009			
その他医業収益	220,515			
(うち他会計負担金)	165,290			
(2) 医業外収益	1,965,640			
(うち国・都道府県補助金)	3,013			
(うち他会計補助・負担金)	1,621,248			
(うち長期前受金戻入)	290,123			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	342,806			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,925,288			
2 経常費用	8,925,288			
(1) 医業費用	8,424,879			
職員給与費	4,542,926	83.9	55.7	59.8
材料費	1,932,544	35.7	24.7	19.0
(うち薬品費)	387,106	7.1	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,545,438	28.5	11.0	9.2
減価償却費	523,139	9.7	9.0	9.9
経費	1,357,171	25.1	23.3	27.7
(うち委託料)	729,481	13.5	11.5	12.4
研究研修費	25,918			
資産減耗費	43,181			
(2) 医業外費用	500,409			
(うち支払利息)	143,743	2.7	1.4	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-1,544,124			
純損益	-1,201,318			
累積欠損金	18,622,810			
経常収支比率	82.7		97.7	96.3
医業収支比率	64.3		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	24.2		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	33.0		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	23.1		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	62.7		85.7	83.5

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	48,910,777
1 固定資産	32,343,596
(1) 有形固定資産	30,453,863
(2) 無形固定資産	1,011,502
(3) 投資その他の資産	878,231
2 流動資産	16,567,181
(1) 現金及び預金	2,493,832
(2) 未収金及び未収収益	5,382,874
(3) 貸倒引当金()	24,068
(4) 貯蔵品	527,074
3 繰延資産	-
負債合計	45,233,182
1 固定負債	31,315,387
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	26,657,065
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,658,322
(7) リース債務	-
2 流動負債	10,051,610
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,112,105
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,589,639
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,094,490
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,866,185
(1) 長期前受金	26,690,380
(2) 長期前受金収益化累計額()	22,824,195
資本合計	3,677,595
1 資本金	12,616,892
2 剰余金	-8,939,297
(1) 資本金剰余金	14,901,028
(2) 利益剰余金	-23,840,325
負債・資本合計	48,910,777
不良債務	384,509
実質資金不足額	384,509
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,786,538	1,786,538
資本勘定繰入	625,741	625,741
計	2,412,279	2,412,279

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	384,509	1.1
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	68.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	350,572
地財法上の資金不足比率(%)	1.0

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	千葉県
				市町村・組合名	
				病院名	佐原病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	16,652 m ²	指定病院の状況	救臨 災		
診療科数	23	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	237	49.9	52.9	54.1
療養	-	-	-	-
結核	4	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	241	49.1	52.0	53.2
平均在院日数(一般病床のみ)		15.6	16.1	16.5

設立団体の状況		
人口(人)	6,222,666	
決算規模(千円)	1,655,110,824	
標準財政規模(千円)	1,063,461,359	
財政力指数	0.77875	
経常収支比率(%)	97.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.9
	将来負担比率(%)	140.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,733,329			
1 経常収益	3,711,986			
(1) 医業収益	3,014,781			
入院収益	1,876,520			
外来収益	917,206			
診療収入計	2,793,726			
その他医業収益	221,055			
(うち他会計負担金)	146,327			
(2) 医業外収益	697,205			
(うち国・都道府県補助金)	2,956			
(うち他会計補助・負担金)	537,194			
(うち長期前受金戻入)	106,949			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	21,343			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,177,055			
2 経常費用	5,177,055			
(1) 医業費用	4,946,700			
職員給与費	3,067,166	101.7	55.7	59.8
材料費	554,921	18.4	24.7	19.0
(うち薬品費)	190,480	6.3	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	363,410	12.1	11.0	9.2
減価償却費	207,560	6.9	9.0	9.9
経費	1,090,570	36.2	23.3	27.7
(うち委託料)	402,881	13.4	11.5	12.4
研究研修費	9,915			
資産減耗費	16,568			
(2) 医業外費用	230,355			
(うち支払利息)	35,660	1.2	1.4	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-1,465,069			
純損益	-1,443,726			
累積欠損金	13,746,815			
経常収支比率	71.7		97.7	96.3
医業収支比率	60.9		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	18.4		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	22.7		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	18.3		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	58.5		85.7	83.5

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	48,910,777
1 固定資産	32,343,596
(1) 有形固定資産	30,453,863
(2) 無形固定資産	1,011,502
(3) 投資その他の資産	878,231
2 流動資産	16,567,181
(1) 現金及び預金	2,493,832
(2) 未収金及び未収収益	5,382,874
(3) 貸倒引当金()	24,068
(4) 貯蔵品	527,074
3 繰延資産	-
負債合計	45,233,182
1 固定負債	31,315,387
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	26,657,065
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,658,322
(7) リース債務	-
2 流動負債	10,051,610
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,112,105
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,589,639
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,094,490
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,866,185
(1) 長期前受金	26,690,380
(2) 長期前受金収益化累計額()	22,824,195
資本合計	3,677,595
1 資本金	12,616,892
2 剰余金	-8,939,297
(1) 資本金剰余金	14,901,028
(2) 利益剰余金	-23,840,325
負債・資本合計	48,910,777
不良債務	384,509
実質資金不足額	384,509
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	58.0
修正医業収益(千円)	2,868,454

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	680,415	683,521
資本勘定繰入	192,912	192,912
計	873,327	876,433

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	384,509	1.1
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	68.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	350,572
地財法上の資金不足比率(%)	1.0

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	千葉県
		市町村・組合名	
		病院名	精神科医療センター
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	3,798 m ²	指定病院の状況	臨
診療科数	1	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	92.0	91.6	89.1
感染症	-	-	-	-
計	50	92.0	91.6	89.1
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	6,222,666	
決算規模(千円)	1,655,110,824	
標準財政規模(千円)	1,063,461,359	
財政力指数	0.77875	
経常収支比率(%)	97.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.9
	将来負担比率(%)	140.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,590,971			
1 経常収益	1,590,971			
(1) 医業収益	1,060,370			
入院収益	579,484			
外来収益	367,324			
診療収入計	946,808			
その他医業収益	113,562			
(うち他会計負担金)	105,921			
(2) 医業外収益	530,601			
(うち国・都道府県補助金)	13,296			
(うち他会計補助・負担金)	476,266			
(うち長期前受金戻入)	25,280			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,628,025			
2 経常費用	1,628,025			
(1) 医業費用	1,584,056			
職員給与費	1,113,124	105.0	55.7	98.9
材料費	215,314	20.3	24.7	8.8
(うち薬品費)	191,991	18.1	13.3	6.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	19,230	1.8	11.0	1.1
減価償却費	46,361	4.4	9.0	12.7
経費	201,175	19.0	23.3	34.6
(うち委託料)	110,924	10.5	11.5	17.1
研究研修費	4,277			
資産減耗費	3,805			
(2) 医業外費用	43,969			
(うち支払利息)	52	-	1.4	2.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-37,054			
純損益	-37,054			
累積欠損金	-			
経常収支比率	97.7		97.7	98.9
医業収支比率	66.9		88.1	64.2
他会計繰入金対経常収益比率	36.6		12.3	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	54.9		14.5	56.2
他会計繰入金対総収益比率	36.6		12.4	34.4
実質収益対経常費用比率	62.0		85.7	64.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	48,910,777
1 固定資産	32,343,596
(1) 有形固定資産	30,453,863
(2) 無形固定資産	1,011,502
(3) 投資その他の資産	878,231
2 流動資産	16,567,181
(1) 現金及び預金	2,493,832
(2) 未収金及び未収収益	5,382,874
(3) 貸倒引当金()	24,068
(4) 貯蔵品	527,074
3 繰延資産	-
負債合計	45,233,182
1 固定負債	31,315,387
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	26,657,065
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,658,322
(7) リース債務	-
2 流動負債	10,051,610
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,112,105
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,589,639
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,094,490
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,866,185
(1) 長期前受金	26,690,380
(2) 長期前受金収益化累計額()	22,824,195
資本合計	3,677,595
1 資本金	12,616,892
2 剰余金	-8,939,297
(1) 資本金剰余金	14,901,028
(2) 利益剰余金	-23,840,325
負債・資本合計	48,910,777
不良債務	384,509
実質資金不足額	384,509
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	60.3
修正医業収益(千円)	954,449

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	582,187	582,187
資本勘定繰入	10,076	10,076
計	592,263	592,263

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	384,509	1.1
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	68.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	350,572
地財法上の資金不足比率(%)	1.0

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	千葉県
				市町村・組合名	
				病院名	がんセンター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	32,397 m ²	指定病院の状況	救臨が		
診療科数	26	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	341	74.5	75.7	72.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	341	74.5	75.7	72.6
平均在院日数(一般病床のみ)		12.3	13.3	13.6

設立団体の状況		
人口(人)	6,222,666	
決算規模(千円)	1,655,110,824	
標準財政規模(千円)	1,063,461,359	
財政力指数	0.77875	
経常収支比率(%)	97.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.9
	将来負担比率(%)	140.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.4
修正医業収益(千円)	11,889,002

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	15,594,852			
1 経常収益	15,593,380			
(1) 医業収益	12,313,595			
入院収益	5,962,962			
外来収益	5,792,142			
診療収入計	11,755,104			
その他医業収益	558,491			
(うち他会計負担金)	424,593			
(2) 医業外収益	3,279,785			
(うち国・都道府県補助金)	32,681			
(うち他会計補助・負担金)	2,635,463			
(うち長期前受金戻入)	292,254			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,472			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	16,251,335			
2 経常費用	16,248,597			
(1) 医業費用	15,367,774			
職員給与費	7,142,913	58.0	55.7	57.0
材料費	5,156,385	41.9	24.7	24.5
(うち薬品費)	3,728,314	30.3	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,428,071	11.6	11.0	11.3
減価償却費	624,133	5.1	9.0	9.3
経費	2,327,531	18.9	23.3	22.1
(うち委託料)	1,192,750	9.7	11.5	11.1
研究研修費	63,061			
資産減耗費	53,751			
(2) 医業外費用	880,823			
(うち支払利息)	11,237	0.1	1.4	1.4
(3) 特別損失	2,738			
損益				
経常損益	-655,217			
純損益	-656,483			
累積欠損金	816,334			
経常収支比率	96.0		97.7	96.4
医業収支比率	80.1		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	19.6		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	24.9		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	19.6		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	77.1		85.7	85.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	48,910,777
1 固定資産	32,343,596
(1) 有形固定資産	30,453,863
(2) 無形固定資産	1,011,502
(3) 投資その他の資産	878,231
2 流動資産	16,567,181
(1) 現金及び預金	2,493,832
(2) 未収金及び未収収益	5,382,874
(3) 貸倒引当金()	24,068
(4) 貯蔵品	527,074
3 繰延資産	-
負債合計	45,233,182
1 固定負債	31,315,387
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	26,657,065
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,658,322
(7) リース債務	-
2 流動負債	10,051,610
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,112,105
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,589,639
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,094,490
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,866,185
(1) 長期前受金	26,690,380
(2) 長期前受金収益化累計額()	22,824,195
資本合計	3,677,595
1 資本金	12,616,892
2 剰余金	-8,939,297
(1) 資本金剰余金	14,901,028
(2) 利益剰余金	-23,840,325
負債・資本合計	48,910,777
不良債務	384,509
実質資金不足額	384,509
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	3,060,056	3,060,056
資本勘定繰入	372,851	372,851
計	3,432,907	3,432,907

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	384,509	1.1
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	68.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	350,572
地財法上の資金不足比率(%)	1.0

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	千葉県
				市町村・組合名	
				病院名	救急医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	11,204 m ²	指定病院の状況	救臨 災		
診療科数	12	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	100	75.9	77.0	77.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	75.9	77.0	77.5
平均在院日数(一般病床のみ)		14.4	14.4	14.7

設立団体の状況		
人口(人)	6,222,666	
決算規模(千円)	1,655,110,824	
標準財政規模(千円)	1,063,461,359	
財政力指数	0.77875	
経常収支比率(%)	97.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.9
	将来負担比率(%)	140.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	58.8
修正医業収益(千円)	3,135,828

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,769,344			
1 経常収益	5,769,181			
(1) 医業収益	5,442,677			
入院収益	2,954,525			
外来収益	164,086			
診療収入計	3,118,611			
その他医業収益	2,324,066			
(うち他会計負担金)	2,306,849			
(2) 医業外収益	326,504			
(うち国・都道府県補助金)	3,392			
(うち他会計補助・負担金)	151,691			
(うち長期前受金戻入)	144,890			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	163			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,544,669			
2 経常費用	5,544,669			
(1) 医業費用	5,332,631			
職員給与費	3,266,480	60.0	55.7	61.3
材料費	1,024,518	18.8	24.7	17.6
(うち薬品費)	101,201	1.9	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	913,809	16.8	11.0	8.2
減価償却費	263,084	4.8	9.0	10.2
経費	735,361	13.5	23.3	30.5
(うち委託料)	455,192	8.4	11.5	13.0
研究研修費	15,983			
資産減耗費	27,205			
(2) 医業外費用	212,038			
(うち支払利息)	4,671	0.1	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	224,512			
純損益	224,675			
累積欠損金	-			
経常収支比率	104.0		97.7	96.5
医業収支比率	102.1		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	42.6		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	45.2		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	42.6		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	59.7		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	48,910,777
1 固定資産	32,343,596
(1) 有形固定資産	30,453,863
(2) 無形固定資産	1,011,502
(3) 投資その他の資産	878,231
2 流動資産	16,567,181
(1) 現金及び預金	2,493,832
(2) 未収金及び未収収益	5,382,874
(3) 貸倒引当金()	24,068
(4) 貯蔵品	527,074
3 繰延資産	-
負債合計	45,233,182
1 固定負債	31,315,387
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	26,657,065
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,658,322
(7) リース債務	-
2 流動負債	10,051,610
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,112,105
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,589,639
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,094,490
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,866,185
(1) 長期前受金	26,690,380
(2) 長期前受金収益化累計額()	22,824,195
資本合計	3,677,595
1 資本金	12,616,892
2 剰余金	-8,939,297
(1) 資本金剰余金	14,901,028
(2) 利益剰余金	-23,840,325
負債・資本合計	48,910,777
不良債務	384,509
実質資金不足額	384,509
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,458,540	2,458,540
資本勘定繰入	137,861	137,861
計	2,596,401	2,596,401

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	384,509	1.1
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	68.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	350,572
地財法上の資金不足比率(%)	1.0

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	千葉県
				市町村・組合名	
				病院名	こども病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	21,269 m ²	指定病院の状況	救臨地		
診療科数	23	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	224	63.1	65.5	61.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	224	63.1	65.5	61.6
平均在院日数(一般病床のみ)		11.2	11.3	12.0

設立団体の状況		
人口(人)	6,222,666	
決算規模(千円)	1,655,110,824	
標準財政規模(千円)	1,063,461,359	
財政力指数	0.77875	
経常収支比率(%)	97.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.9
	将来負担比率(%)	140.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	71.5
修正医業収益(千円)	7,520,451

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,048,744			
1 経常収益	11,048,744			
(1) 医業収益	7,774,897			
入院収益	4,615,756			
外来収益	2,872,441			
診療収入計	7,488,197			
その他医業収益	286,700			
(うち他会計負担金)	254,446			
(2) 医業外収益	3,273,847			
(うち国・都道府県補助金)	3,658			
(うち他会計補助・負担金)	2,987,546			
(うち長期前受金戻入)	242,454			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,016,156			
2 経常費用	11,016,156			
(1) 医業費用	10,522,593			
職員給与費	5,484,505	70.5	55.7	59.8
材料費	2,988,798	38.4	24.7	19.0
(うち薬品費)	2,414,134	31.1	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	574,664	7.4	11.0	9.2
減価償却費	463,273	6.0	9.0	9.9
経費	1,506,364	19.4	23.3	27.7
(うち委託料)	856,885	11.0	11.5	12.4
研究研修費	37,311			
資産減耗費	42,342			
(2) 医業外費用	493,563			
(うち支払利息)	16,178	0.2	1.4	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	32,588			
純損益	32,588			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.3		97.7	96.3
医業収支比率	73.9		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	29.3		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	41.7		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	29.3		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	70.9		85.7	83.5

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	48,910,777
1 固定資産	32,343,596
(1) 有形固定資産	30,453,863
(2) 無形固定資産	1,011,502
(3) 投資その他の資産	878,231
2 流動資産	16,567,181
(1) 現金及び預金	2,493,832
(2) 未収金及び未収収益	5,382,874
(3) 貸倒引当金()	24,068
(4) 貯蔵品	527,074
3 繰延資産	-
負債合計	45,233,182
1 固定負債	31,315,387
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	26,657,065
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,658,322
(7) リース債務	-
2 流動負債	10,051,610
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,112,105
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,589,639
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,094,490
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,866,185
(1) 長期前受金	26,690,380
(2) 長期前受金収益化累計額()	22,824,195
資本合計	3,677,595
1 資本金	12,616,892
2 剰余金	-8,939,297
(1) 資本金剰余金	14,901,028
(2) 利益剰余金	-23,840,325
負債・資本合計	48,910,777
不良債務	384,509
実質資金不足額	384,509
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	3,241,992	3,241,992
資本勘定繰入	195,691	195,691
計	3,437,683	3,437,683

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	384,509	1.1
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	68.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	350,572
地財法上の資金不足比率(%)	1.0

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	千葉県
				市町村・組合名	千葉市
				病院名	青葉病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	34,012 m ²	指定病院の状況	救臨 感 災 地 輪		
診療科数	27	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	307	85.7	81.1	80.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	56	74.5	62.5	59.6
感染症	6	48.5	25.8	1.8
計	369	83.4	77.3	75.8
平均在院日数(一般病床のみ)		11.5	11.3	12.3

設立団体の状況		
人口(人)	971,882	
決算規模(千円)	456,067,538	
標準財政規模(千円)	247,106,654	
財政力指数	0.93	
経常収支比率(%)	98.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.9
	将来負担比率(%)	138.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.7
修正医業収益(千円)	9,699,053

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,868,354			
1 経常収益	12,841,104			
(1) 医業収益	10,109,184			
入院収益	6,825,923			
外来収益	2,694,910			
診療収入計	9,520,833			
その他医業収益	588,351			
(うち他会計負担金)	410,131			
(2) 医業外収益	2,731,920			
(うち国・都道府県補助金)	37,339			
(うち他会計補助・負担金)	1,981,152			
(うち長期前受金戻入)	7,198			
(うち資本費繰入収益)	586,736			
(3) 特別利益	27,250			
(うち他会計繰入金)	22,980			
総費用	12,679,663			
2 経常費用	12,357,065			
(1) 医業費用	11,590,905			
職員給与費	6,011,894	59.5	55.7	57.0
材料費	2,866,227	28.4	24.7	24.5
(うち薬品費)	1,644,975	16.3	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,220,129	12.1	11.0	11.3
減価償却費	782,147	7.7	9.0	9.3
経費	1,872,797	18.5	23.3	22.1
(うち委託料)	1,129,629	11.2	11.5	11.1
研究研修費	39,745			
資産減耗費	18,095			
(2) 医業外費用	766,160			
(うち支払利息)	251,052	2.5	1.4	1.4
(3) 特別損失	322,598			
損益				
経常損益	484,039			
純損益	188,691			
累積欠損金	4,065,963			
経常収支比率	103.9		97.7	96.4
医業収支比率	87.2		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	18.6		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	23.7		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	18.8		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	84.6		85.7	85.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	23,386,632
1 固定資産	18,290,414
(1) 有形固定資産	17,710,072
(2) 無形固定資産	367,731
(3) 投資その他の資産	212,611
2 流動資産	5,096,218
(1) 現金及び預金	703,958
(2) 未収金及び未収収益	3,966,173
(3) 貸倒引当金()	34,945
(4) 貯蔵品	110,299
3 繰延資産	-
負債合計	24,901,180
1 固定負債	19,136,682
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,208,643
(2) その他の企業債	274,002
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,200,000
(6) 引当金	2,351,160
(7) リース債務	102,877
2 流動負債	5,249,254
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,990,517
(2) その他の企業債	666
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	407,333
(6) リース債務	402,165
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,010,956
(9) 前受金及び前受収益	26
3 繰延収益	515,244
(1) 長期前受金	6,006,724
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,491,480
資本合計	-1,514,548
1 資本金	5,745,316
2 剰余金	-7,259,864
(1) 資本金剰余金	1,330,623
(2) 利益剰余金	-8,590,487
負債・資本合計	23,386,632
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,514,548
資本不足額(繰延収益控除後)()	999,304
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,261,537	2,414,263
資本勘定繰入	919,550	1,512,422
計	3,181,087	3,926,685

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	143,235	0.9

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	50.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	千葉県
				市町村・組合名	千葉市
				病院名	海浜病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	21,277 m ²	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
診療科数	29	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	293	63.4	61.7	62.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	293	63.4	61.7	62.9
平均在院日数(一般病床のみ)		7.7	7.6	8.1

設立団体の状況		
人口(人)	971,882	
決算規模(千円)	456,067,538	
標準財政規模(千円)	247,106,654	
財政力指数	0.93	
経常収支比率(%)	98.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.9
	将来負担比率(%)	138.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.2
修正医業収益(千円)	6,641,570

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,753,841			
1 経常収益	8,752,423			
(1) 医業収益	7,035,296			
入院収益	4,761,582			
外来収益	1,736,197			
診療収入計	6,497,779			
その他医業収益	537,517			
(うち他会計負担金)	393,726			
(2) 医業外収益	1,717,127			
(うち国・都道府県補助金)	103,204			
(うち他会計補助・負担金)	1,089,835			
(うち長期前受金戻入)	41,388			
(うち資本費繰入収益)	426,794			
(3) 特別利益	1,418			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,001,061			
2 経常費用	8,912,616			
(1) 医業費用	8,603,586			
職員給与費	4,882,385	69.4	55.7	59.8
材料費	1,066,583	15.2	24.7	19.0
(うち薬品費)	563,981	8.0	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	501,055	7.1	11.0	9.2
減価償却費	850,942	12.1	9.0	9.9
経費	1,767,637	25.1	23.3	27.7
(うち委託料)	1,023,595	14.5	11.5	12.4
研究研修費	31,829			
資産減耗費	4,210			
(2) 医業外費用	309,030			
(うち支払利息)	10,441	0.1	1.4	1.5
(3) 特別損失	88,445			
損益				
経常損益	-160,193			
純損益	-247,220			
累積欠損金	4,524,524			
経常収支比率	98.2		97.7	96.3
医業収支比率	81.8		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	17.0		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	21.1		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	16.9		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	81.6		85.7	83.5

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	23,386,632
1 固定資産	18,290,414
(1) 有形固定資産	17,710,072
(2) 無形固定資産	367,731
(3) 投資その他の資産	212,611
2 流動資産	5,096,218
(1) 現金及び預金	703,958
(2) 未収金及び未収収益	3,966,173
(3) 貸倒引当金()	34,945
(4) 貯蔵品	110,299
3 繰延資産	-
負債合計	24,901,180
1 固定負債	19,136,682
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,208,643
(2) その他の企業債	274,002
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,200,000
(6) 引当金	2,351,160
(7) リース債務	102,877
2 流動負債	5,249,254
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,990,517
(2) その他の企業債	666
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	407,333
(6) リース債務	402,165
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,010,956
(9) 前受金及び前受収益	26
3 繰延収益	515,244
(1) 長期前受金	6,006,724
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,491,480
資本合計	-1,514,548
1 資本金	5,745,316
2 剰余金	-7,259,864
(1) 資本金剰余金	1,330,623
(2) 利益剰余金	-8,590,487
負債・資本合計	23,386,632
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,514,548
資本不足額(繰延収益控除後)()	999,304

備考:
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,275,514	1,483,561
資本勘定繰入	426,627	844,479
計	1,702,141	2,328,040

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	143,235	0.9

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	50.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	千葉県
	市町村・組合名	銚子市
	病院名	銚子市立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	18,960 m ²	指定病院の状況	
診療科数	11	看護配置	13:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	148	33.8	32.3	27.7
療養	38	95.0	95.7	95.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	186	46.3	32.3	24.9
平均在院日数(一般病床のみ)		21.7	21.0	18.8

設立団体の状況		
人口(人)	64,415	
決算規模(千円)	24,001,845	
標準財政規模(千円)	14,451,014	
財政力指数	0.61	
経常収支比率(%)	95.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.2
	将来負担比率(%)	137.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	512,092			
1 経常収益	512,092			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	512,092			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	484,216			
(うち長期前受金戻入)	19,100			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	512,092			
2 経常費用	512,092			
(1) 医業費用	510,404			
職員給与費	4,404	-	55.7	61.3
材料費	-	-	24.7	17.6
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	8.2
減価償却費	115,319	-	9.0	10.2
経費	384,647	-	23.3	30.5
(うち委託料)	7,573	-	11.5	13.0
研究研修費	-			
資産減耗費	6,034			
(2) 医業外費用	1,688			
(うち支払利息)	1,688	-	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	2,150,340			
経常収支比率	100.0		97.7	96.5
医業収支比率	-		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	94.6		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	94.6		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	5.4		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,737,519
1 固定資産	1,687,842
(1) 有形固定資産	1,680,997
(2) 無形固定資産	5,085
(3) 投資その他の資産	1,760
2 流動資産	49,677
(1) 現金及び預金	48,636
(2) 未収金及び未収収益	1,041
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	629,902
1 固定負債	311,865
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	297,944
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	4,360
(5) その他の長期借入金	5,640
(6) 引当金	-
(7) リース債務	3,921
2 流動負債	135,316
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	73,262
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	21,798
(4) その他の長期借入金	28,202
(5) 引当金	390
(6) リース債務	1,303
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	6,346
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	182,721
(1) 長期前受金	792,218
(2) 長期前受金収益化累計額()	609,497
資本合計	1,107,617
1 資本金	3,243,122
2 剰余金	-2,135,505
(1) 資本剰余金	14,835
(2) 利益剰余金	-2,150,340
負債・資本合計	1,737,519
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,146	484,216
資本勘定繰入	44,127	25,408
計	45,273	509,624

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	千葉県
		市町村・組合名	市川市
		病院名	リハビリテーション病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	58.9	63.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	58.9	63.4
平均在院日数(一般病床のみ)		-	76.4	80.6

設立団体の状況		
人口(人)	481,732	
決算規模(千円)	155,886,858	
標準財政規模(千円)	87,859,827	
財政力指数	1.08	
経常収支比率(%)	91.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.6
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	222,351			
1 経常収益	33,489			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	33,489			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	33,489			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	188,862			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	222,351			
2 経常費用	33,489			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	61.3
材料費	-	-	24.7	17.6
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	8.2
減価償却費	-	-	9.0	10.2
経費	-	-	23.3	30.5
(うち委託料)	-	-	11.5	13.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	33,489			
(うち支払利息)	33,489	-	1.4	1.6
(3) 特別損失	188,862			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	96.5
医業収支比率	-		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	15.1		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	-		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	22,326	33,489
資本勘定繰入	-	-
計	22,326	33,489

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	千葉県
				市町村・組合名	船橋市
				病院名	医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	35,581 m ²	指定病院の状況	救臨が 災地		
診療科数	31	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	449	84.3	83.1	81.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	449	84.3	83.1	81.4
平均在院日数(一般病床のみ)		9.7	9.6	9.7

設立団体の状況		
人口(人)	622,890	
決算規模(千円)	208,443,725	
標準財政規模(千円)	115,941,016	
財政力指数	0.96	
経常収支比率(%)	96.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	0.7
	将来負担比率(%)	24.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	17,840,424			
1 経常収益	17,563,278			
(1) 医業収益	16,370,960			
入院収益	11,245,217			
外来収益	4,269,961			
診療収入計	15,515,178			
その他医業収益	855,782			
(うち他会計負担金)	729,798			
(2) 医業外収益	1,192,318			
(うち国・都道府県補助金)	37,406			
(うち他会計補助・負担金)	770,202			
(うち長期前受金戻入)	222,623			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	277,146			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	17,477,989			
2 経常費用	17,423,621			
(1) 医業費用	16,589,817			
職員給与費	7,869,622	48.1	55.7	54.0
材料費	4,551,486	27.8	24.7	26.9
(うち薬品費)	2,044,395	12.5	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,500,342	15.3	11.0	12.2
減価償却費	1,056,260	6.5	9.0	7.9
経費	2,996,440	18.3	23.3	19.2
(うち委託料)	1,435,398	8.8	11.5	9.3
研究研修費	68,016			
資産減耗費	47,993			
(2) 医業外費用	833,804			
(うち支払利息)	163,144	1.0	1.4	1.3
(3) 特別損失	54,368			
損益				
経常損益	139,657			
純損益	362,435			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.8		97.7	98.8
医業収支比率	98.7		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	8.5		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	9.2		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	8.4		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	92.2		85.7	89.1

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	22,644,221
1 固定資産	11,884,020
(1) 有形固定資産	11,569,785
(2) 無形固定資産	155,546
(3) 投資その他の資産	158,689
2 流動資産	10,760,201
(1) 現金及び預金	8,237,904
(2) 未収金及び未収収益	2,490,623
(3) 貸倒引当金()	4,981
(4) 貯蔵品	33,655
3 繰延資産	-
負債合計	9,724,552
1 固定負債	6,256,715
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,625,877
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,603,209
(7) リース債務	27,629
2 流動負債	2,783,734
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,028,265
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	552,156
(6) リース債務	9,761
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,134,877
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	684,103
(1) 長期前受金	5,295,083
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,610,980
資本合計	12,919,669
1 資本金	7,107,417
2 剰余金	5,812,252
(1) 資本金剰余金	705,672
(2) 利益剰余金	5,106,580
負債・資本合計	22,644,221
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	94.3
修正医業収益(千円)	15,641,162

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,672,916	1,500,000
資本勘定繰入	841,474	500,000
計	2,514,390	2,000,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	千葉県
				市町村・組合名	松戸市
				病院名	松戸市立総合医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	47,021 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地		
診療科数	34	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	592	83.1	84.2	73.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	8	8.0	6.4	-
計	600	82.1	83.1	72.2
平均在院日数(一般病床のみ)		12.1	12.8	13.5

設立団体の状況		
人口(人)	483,480	
決算規模(千円)	150,134,908	
標準財政規模(千円)	87,376,255	
財政力指数	0.90	
経常収支比率(%)	94.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	0.6
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.6
修正医業収益(千円)	17,302,490

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	19,621,995			
1 経常収益	19,621,924			
(1) 医業収益	17,562,209			
入院収益	12,062,263			
外来収益	4,860,869			
診療収入計	16,923,132			
その他医業収益	639,077			
(うち他会計負担金)	259,719			
(2) 医業外収益	2,059,715			
(うち国・都道府県補助金)	107,498			
(うち他会計補助・負担金)	1,689,885			
(うち長期前受金戻入)	82,491			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	71			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	22,209,821			
2 経常費用	21,554,800			
(1) 医業費用	20,222,011			
職員給与費	10,033,524	57.1	55.7	49.1
材料費	4,653,066	26.5	24.7	29.1
(うち薬品費)	2,685,830	15.3	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,967,236	11.2	11.0	12.7
減価償却費	1,879,406	10.7	9.0	8.4
経費	3,588,513	20.4	23.3	20.7
(うち委託料)	1,427,075	8.1	11.5	11.6
研究研修費	61,620			
資産減耗費	5,882			
(2) 医業外費用	1,332,789			
(うち支払利息)	141,478	0.8	1.4	1.2
(3) 特別損失	655,021			
損益				
経常損益	-1,932,876			
純損益	-2,587,826			
累積欠損金	9,408,469			
経常収支比率	91.0		97.7	98.8
医業収支比率	86.8		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	9.9		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	11.1		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	9.9		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	82.0		85.7	89.9

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	41,606,544
1 固定資産	35,268,534
(1) 有形固定資産	33,460,687
(2) 無形固定資産	11,073
(3) 投資その他の資産	1,796,774
2 流動資産	6,338,010
(1) 現金及び預金	2,665,815
(2) 未収金及び未収収益	3,634,025
(3) 貸倒引当金()	25,168
(4) 貯蔵品	62,171
3 繰延資産	-
負債合計	29,693,958
1 固定負債	22,847,283
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	20,949,437
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,897,846
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,913,542
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,581,794
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	665,304
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,565,847
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,933,133
(1) 長期前受金	5,139,652
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,206,519
資本合計	11,912,586
1 資本金	21,640,857
2 剰余金	-9,728,271
(1) 資本剰余金	306,555
(2) 利益剰余金	-10,034,826
負債・資本合計	41,606,544
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,812,674	1,949,604
資本勘定繰入	790,193	870,043
計	2,602,867	2,819,647

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	51.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
 占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	千葉県
				市町村・組合名	松戸市
				病院名	福祉医療センター東松戸病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	13,063 m ²	指定病院の状況			
診療科数	11	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	181	77.8	72.2	74.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	181	77.8	72.2	74.4
平均在院日数(一般病床のみ)		48.7	50.4	53.8

設立団体の状況		
人口(人)	483,480	
決算規模(千円)	150,134,908	
標準財政規模(千円)	87,376,255	
財政力指数	0.90	
経常収支比率(%)	94.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	0.6
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.2
修正医業収益(千円)	1,863,269

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,645,854			
1 経常収益	2,645,854			
(1) 医業収益	1,898,971			
入院収益	1,547,627			
外来収益	207,905			
診療収入計	1,755,532			
その他医業収益	143,439			
(うち他会計負担金)	35,702			
(2) 医業外収益	746,883			
(うち国・都道府県補助金)	315			
(うち他会計補助・負担金)	524,128			
(うち長期前受金戻入)	8,985			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,576,808			
2 経常費用	2,573,724			
(1) 医業費用	2,294,373			
職員給与費	1,650,825	86.9	55.7	61.3
材料費	98,965	5.2	24.7	17.6
(うち薬品費)	53,735	2.8	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	45,230	2.4	11.0	8.2
減価償却費	80,160	4.2	9.0	10.2
経費	462,280	24.3	23.3	30.5
(うち委託料)	257,043	13.5	11.5	13.0
研究研修費	1,893			
資産減耗費	250			
(2) 医業外費用	279,351			
(うち支払利息)	5,073	0.3	1.4	1.6
(3) 特別損失	3,084			
損益				
経常損益	72,130			
純損益	69,046			
累積欠損金	634,183			
経常収支比率	102.8		97.7	96.5
医業収支比率	82.8		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	21.2		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	29.5		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	21.2		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	81.1		85.7	80.7

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	41,606,544
1 固定資産	35,268,534
(1) 有形固定資産	33,460,687
(2) 無形固定資産	11,073
(3) 投資その他の資産	1,796,774
2 流動資産	6,338,010
(1) 現金及び預金	2,665,815
(2) 未収金及び未収収益	3,634,025
(3) 貸倒引当金()	25,168
(4) 貯蔵品	62,171
3 繰延資産	-
負債合計	29,693,958
1 固定負債	22,847,283
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	20,949,437
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,897,846
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,913,542
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,581,794
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	665,304
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,565,847
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,933,133
(1) 長期前受金	5,139,652
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,206,519
資本合計	11,912,586
1 資本金	21,640,857
2 剰余金	-9,728,271
(1) 資本剰余金	306,555
(2) 利益剰余金	-10,034,826
負債・資本合計	41,606,544
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	140,159	559,830
資本勘定繰入	31,112	31,112
計	171,271	590,942

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	51.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	千葉県
		市町村・組合名	旭市
		病院名	総合病院国保旭中央病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	66,586	
決算規模(千円)	32,090,129	
標準財政規模(千円)	17,769,457	
財政力指数	0.49	
経常収支比率(%)	86.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.9
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	388,885			
1 経常収益	388,885			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	388,885			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	388,885			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	388,885			
2 経常費用	388,885			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	49.1
材料費	-	-	24.7	29.1
(うち薬品費)	-	-	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	12.7
減価償却費	-	-	9.0	8.4
経費	-	-	23.3	20.7
(うち委託料)	-	-	11.5	11.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	388,885			
(うち支払利息)	388,885	-	1.4	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	98.8
医業収支比率	-		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	-		85.7	89.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	194,443	388,885
資本勘定繰入	706,812	1,413,624
計	901,255	1,802,509

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	千葉県
				市町村・組合名	柏市
				病院名	柏病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	12,121 m ²	指定病院の状況	救臨	輪	
診療科数	16	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)		
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	200	75.8	78.3	77.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	200	75.8	78.3	77.1
平均在院日数(一般病床のみ)		15.1	15.7	16.2

設立団体の状況		
人口(人)	413,954	
決算規模(千円)	127,326,398	
標準財政規模(千円)	78,762,264	
財政力指数	0.96	
経常収支比率(%)	91.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	327,701			
1 経常収益	327,701			
(1) 医業収益	88,000			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	88,000			
(うち他会計負担金)	88,000			
(2) 医業外収益	239,701			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	135,549			
(うち長期前受金戻入)	7,269			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	327,701			
2 経常費用	327,701			
(1) 医業費用	296,224			
職員給与費	9,504	10.8	55.7	59.8
材料費	-	-	24.7	19.0
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	9.2
減価償却費	81,247	92.3	9.0	9.9
経費	205,407	233.4	23.3	27.7
(うち委託料)	170	0.2	11.5	12.4
研究研修費	-			
資産減耗費	66			
(2) 医業外費用	31,477			
(うち支払利息)	31,477	35.8	1.4	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	96.3
医業収支比率	29.7		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	68.2		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	254.0		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	68.2		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	31.8		85.7	83.5

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,291,249
1 固定資産	2,959,580
(1) 有形固定資産	2,959,580
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	2,331,669
(1) 現金及び預金	2,001,985
(2) 未収金及び未収収益	329,684
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	931,372
1 固定負債	664,339
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	649,533
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	14,806
(7) リース債務	-
2 流動負債	177,025
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	168,156
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	5,878
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,791
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	90,008
(1) 長期前受金	338,068
(2) 長期前受金収益化累計額()	248,060
資本合計	4,359,877
1 資本金	4,028,688
2 剰余金	331,189
(1) 資本金剰余金	127,481
(2) 利益剰余金	203,708
負債・資本合計	5,291,249
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	239,875	223,549
資本勘定繰入	107,775	107,775
計	347,650	331,324

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	千葉県
				市町村・組合名	鴨川市
				病院名	国保病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種	該当	
建物面積	3,468 m ²	指定病院の状況	救	輪	
診療科数	14	看護配置	13	: 1	
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	52	59.8	50.2	46.2
療養	18	88.3	91.0	88.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	70	67.1	60.7	57.0
平均在院日数(一般病床のみ)		30.5	23.0	20.8

設立団体の状況		
人口(人)	33,932	
決算規模(千円)	16,362,451	
標準財政規模(千円)	9,388,287	
財政力指数	0.53	
経常収支比率(%)	99.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.0
	将来負担比率(%)	105.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	90.5
修正医業収益(千円)	778,050

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	901,848			
1 経常収益	901,848			
(1) 医業収益	778,050			
入院収益	418,450			
外来収益	261,716			
診療収入計	680,166			
その他医業収益	97,884			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	123,798			
(うち国・都道府県補助金)	10,210			
(うち他会計補助・負担金)	100,753			
(うち長期前受金戻入)	4,498			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	878,699			
2 経常費用	878,699			
(1) 医業費用	859,834			
職員給与費	484,462	62.3	55.7	72.6
材料費	55,529	7.1	24.7	15.8
(うち薬品費)	20,169	2.6	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	34,553	4.4	11.0	5.6
減価償却費	29,131	3.7	9.0	11.1
経費	275,769	35.4	23.3	31.9
(うち委託料)	69,331	8.9	11.5	13.0
研究研修費	839			
資産減耗費	14,104			
(2) 医業外費用	18,865			
(うち支払利息)	676	0.1	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	23,149			
純損益	23,149			
累積欠損金	56,909			
経常収支比率	102.6		97.7	97.4
医業収支比率	90.5		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	11.2		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	12.9		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	11.2		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	91.2		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,202,574
1 固定資産	668,705
(1) 有形固定資産	633,754
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	34,951
2 流動資産	533,869
(1) 現金及び預金	288,985
(2) 未収金及び未収収益	240,934
(3) 貸倒引当金()	336
(4) 貯蔵品	4,286
3 繰延資産	-
負債合計	798,968
1 固定負債	410,470
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	371,872
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	38,598
(7) リース債務	-
2 流動負債	281,966
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,528
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	37,702
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	235,736
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	106,532
(1) 長期前受金	253,422
(2) 長期前受金収益化累計額()	146,890
資本合計	403,606
1 資本金	422,916
2 剰余金	-19,310
(1) 資本金剰余金	23,799
(2) 利益剰余金	-43,109
負債・資本合計	1,202,574
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	189,628	100,753
資本勘定繰入	52,359	70,296
計	241,987	171,049

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	7.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	千葉県
				市町村・組合名	南房総市
				病院名	南房総市立富山国保病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種	該当	
建物面積	3,401 m ²	指定病院の状況	救	感	輪
診療科数	7	看護配置	1	3	1
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	47	69.0	59.9	54.9
療養	-	-	82.1	82.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	51	63.6	60.4	57.1
平均在院日数(一般病床のみ)		24.1	16.0	16.9

設立団体の状況		
人口(人)	39,033	
決算規模(千円)	22,923,878	
標準財政規模(千円)	14,329,576	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	93.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.9
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	82.0
修正医業収益(千円)	492,226

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	649,366			
1 経常収益	649,366			
(1) 医業収益	492,226			
入院収益	356,400			
外来収益	102,976			
診療収入計	459,376			
その他医業収益	32,850			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	157,140			
(うち国・都道府県補助金)	1,939			
(うち他会計補助・負担金)	143,097			
(うち長期前受金戻入)	4,687			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	613,528			
2 経常費用	613,528			
(1) 医業費用	600,622			
職員給与費	383,854	78.0	55.7	72.6
材料費	41,957	8.5	24.7	15.8
(うち薬品費)	14,261	2.9	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	19,432	3.9	11.0	5.6
減価償却費	34,067	6.9	9.0	11.1
経費	101,551	20.6	23.3	31.9
(うち委託料)	30,442	6.2	11.5	13.0
研究研修費	38,984			
資産減耗費	209			
(2) 医業外費用	12,906			
(うち支払利息)	106	-	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	35,838			
純損益	35,838			
累積欠損金	286,154			
経常収支比率	105.8		97.7	97.4
医業収支比率	82.0		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	22.0		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	29.1		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	22.0		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	82.5		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	924,174
1 固定資産	571,498
(1) 有形固定資産	571,498
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	352,676
(1) 現金及び預金	272,677
(2) 未収金及び未収収益	78,807
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	1,192
3 繰延資産	-
負債合計	332,705
1 固定負債	24,005
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	24,005
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	57,654
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,201
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	25,008
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	20,370
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	251,046
(1) 長期前受金	334,602
(2) 長期前受金収益化累計額()	83,556
資本合計	591,469
1 資本金	877,623
2 剰余金	-286,154
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-286,154
負債・資本合計	924,174
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	142,487	143,097
資本勘定繰入	7,513	7,513
計	150,000	150,610

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	58.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	千葉県
				市町村・組合名	匝瑳市
				病院名	国保匝瑳市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,795 m ²	指定病院の状況	救臨 輪		
診療科数	17	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	99	62.9	53.7	54.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	62.9	53.7	54.6
平均在院日数(一般病床のみ)		17.3	17.0	16.4

設立団体の状況		
人口(人)	37,261	
決算規模(千円)	15,736,644	
標準財政規模(千円)	9,545,125	
財政力指数	0.49	
経常収支比率(%)	94.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.7
	将来負担比率(%)	21.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,591,749			
1 経常収益	2,583,446			
(1) 医業収益	1,581,266			
入院収益	735,641			
外来収益	723,321			
診療収入計	1,458,962			
その他医業収益	122,304			
(うち他会計負担金)	46,017			
(2) 医業外収益	1,002,180			
(うち国・都道府県補助金)	6,010			
(うち他会計補助・負担金)	403,302			
(うち長期前受金戻入)	76,230			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	8,303			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,656,913			
2 経常費用	2,656,102			
(1) 医業費用	2,006,593			
職員給与費	1,223,946	77.4	55.7	72.6
材料費	181,032	11.4	24.7	15.8
(うち薬品費)	124,712	7.9	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	56,115	3.5	11.0	5.6
減価償却費	156,287	9.9	9.0	11.1
経費	442,449	28.0	23.3	31.9
(うち委託料)	269,956	17.1	11.5	13.0
研究研修費	1,933			
資産減耗費	946			
(2) 医業外費用	649,509			
(うち支払利息)	11,715	0.7	1.4	1.7
(3) 特別損失	811			
損益				
経常損益	-72,656			
純損益	-65,164			
累積欠損金	2,279,020			
経常収支比率	97.3		97.7	97.4
医業収支比率	78.8		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	17.4		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	28.4		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	17.3		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	80.3		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,273,949
1 固定資産	1,730,823
(1) 有形固定資産	1,721,369
(2) 無形固定資産	8,012
(3) 投資その他の資産	1,442
2 流動資産	543,126
(1) 現金及び預金	236,079
(2) 未収金及び未収収益	301,402
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	5,645
3 繰延資産	-
負債合計	1,236,844
1 固定負債	682,164
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	599,714
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	82,450
2 流動負債	267,552
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	73,733
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	96,347
(6) リース債務	13,815
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	72,961
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	287,128
(1) 長期前受金	1,185,685
(2) 長期前受金収益化累計額()	898,557
資本合計	1,037,105
1 資本金	3,192,118
2 剰余金	-2,155,013
(1) 資本金剰余金	112,507
(2) 利益剰余金	-2,267,520
負債・資本合計	2,273,949
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	76.5
修正医業収益(千円)	1,535,249

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	393,671	449,319
資本勘定繰入	60,413	99,596
計	454,084	548,915

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	144.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	千葉県
				市町村・組合名	香取市
				病院名	香取おみがわ医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	10,159 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	13	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	100	84.0	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	84.0	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		11.4	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	77,499	
決算規模(千円)	31,182,336	
標準財政規模(千円)	19,760,309	
財政力指数	0.54	
経常収支比率(%)	89.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.1
	将来負担比率(%)	52.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.1
修正医業収益(千円)	1,601,323

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,948,788			
1 経常収益	1,948,788			
(1) 医業収益	1,651,975			
入院収益	1,016,751			
外来収益	532,652			
診療収入計	1,549,403			
その他医業収益	102,572			
(うち他会計負担金)	50,652			
(2) 医業外収益	296,813			
(うち国・都道府県補助金)	315			
(うち他会計補助・負担金)	242,066			
(うち長期前受金戻入)	36,350			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,936,080			
2 経常費用	1,864,772			
(1) 医業費用	1,738,631			
職員給与費	851,714	51.6	55.7	61.3
材料費	407,560	24.7	24.7	17.6
(うち薬品費)	75,492	4.6	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	321,365	19.5	11.0	8.2
減価償却費	42,735	2.6	9.0	10.2
経費	434,757	26.3	23.3	30.5
(うち委託料)	116,442	7.0	11.5	13.0
研究研修費	1,163			
資産減耗費	702			
(2) 医業外費用	126,141			
(うち支払利息)	10,551	0.6	1.4	1.6
(3) 特別損失	71,308			
損益				
経常損益	84,016			
純損益	12,708			
累積欠損金	-			
経常収支比率	104.5		97.7	96.5
医業収支比率	95.0		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	15.0		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	17.7		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	15.0		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	88.8		85.7	80.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,407,080
1 固定資産	7,137,631
(1) 有形固定資産	6,644,530
(2) 無形固定資産	1,163
(3) 投資その他の資産	491,938
2 流動資産	1,269,449
(1) 現金及び預金	758,626
(2) 未収金及び未収収益	487,685
(3) 貸倒引当金()	386
(4) 貯蔵品	23,524
3 繰延資産	-
負債合計	6,909,403
1 固定負債	5,827,596
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,821,773
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	5,823
2 流動負債	466,349
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	184,502
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	109,606
(6) リース債務	6,569
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	163,152
(9) 前受金及び前受収益	2,520
3 繰延収益	615,458
(1) 長期前受金	650,496
(2) 長期前受金収益化累計額()	35,038
資本合計	1,497,677
1 資本金	1,483,501
2 剰余金	14,176
(1) 資本剰余金	1,468
(2) 利益剰余金	12,708
負債・資本合計	8,407,080
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	103,293	292,718
資本勘定繰入	63,757	45,762
計	167,050	338,480

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	千葉県
				市町村・組合名	大網白里市
				病院名	国保大網病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種	該当	
建物面積	5,856 m ²	指定病院の状況	救	輪	
診療科数	9	看護配置	10	: 1	
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	99	82.4	80.3	83.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	82.4	80.3	83.6
平均在院日数(一般病床のみ)		17.8	13.5	13.9

設立団体の状況		
人口(人)	49,184	
決算規模(千円)	15,880,033	
標準財政規模(千円)	9,695,647	
財政力指数	0.62	
経常収支比率(%)	99.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.2
	将来負担比率(%)	86.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.6
修正医業収益(千円)	2,147,507

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,629,310			
1 経常収益	2,629,292			
(1) 医業収益	2,240,677			
入院収益	1,166,204			
外来収益	885,084			
診療収入計	2,051,288			
その他医業収益	189,389			
(うち他会計負担金)	93,170			
(2) 医業外収益	388,615			
(うち国・都道府県補助金)	2,000			
(うち他会計補助・負担金)	322,646			
(うち長期前受金戻入)	33,957			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	18			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,604,279			
2 経常費用	2,604,279			
(1) 医業費用	2,478,519			
職員給与費	1,278,439	57.1	55.7	72.6
材料費	681,030	30.4	24.7	15.8
(うち薬品費)	509,237	22.7	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	171,793	7.7	11.0	5.6
減価償却費	81,254	3.6	9.0	11.1
経費	435,016	19.4	23.3	31.9
(うち委託料)	230,249	10.3	11.5	13.0
研究研修費	1,839			
資産減耗費	941			
(2) 医業外費用	125,760			
(うち支払利息)	26,497	1.2	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	25,013			
純損益	25,031			
累積欠損金	2,149,000			
経常収支比率	101.0		97.7	97.4
医業収支比率	90.4		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	15.8		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	18.6		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	15.8		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	85.0		85.7	74.2

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,772,947
1 固定資産	1,342,030
(1) 有形固定資産	1,341,889
(2) 無形固定資産	141
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	430,917
(1) 現金及び預金	47,198
(2) 未収金及び未収収益	359,316
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	24,403
3 繰延資産	-
負債合計	1,479,131
1 固定負債	733,055
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	732,287
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	768
(7) リース債務	-
2 流動負債	353,265
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	151,103
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	61,794
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	139,868
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	392,811
(1) 長期前受金	921,771
(2) 長期前受金収益化累計額()	528,960
資本合計	293,816
1 資本金	2,429,673
2 剰余金	-2,135,857
(1) 資本剰余金	13,143
(2) 利益剰余金	-2,149,000
負債・資本合計	1,772,947
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	415,816	415,816
資本勘定繰入	88,938	88,938
計	504,754	504,754

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	95.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	千葉県
	市町村・組合名	多古町
	病院名	国保多古中央病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	10,233 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	7	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	105	64.9	71.6	67.5
療養	56	77.4	80.5	76.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	161	69.2	74.6	70.7
平均在院日数(一般病床のみ)		21.1	20.4	17.9

設立団体の状況		
人口(人)	14,724	
決算規模(千円)	6,331,553	
標準財政規模(千円)	4,237,152	
財政力指数	0.61	
経常収支比率(%)	91.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.5
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	69.7
修正医業収益(千円)	1,497,046

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,044,389			
1 経常収益	2,044,389			
(1) 医業収益	1,629,816			
入院収益	923,343			
外来収益	471,077			
診療収入計	1,394,420			
その他医業収益	235,396			
(うち他会計負担金)	132,770			
(2) 医業外収益	414,573			
(うち国・都道府県補助金)	3,661			
(うち他会計補助・負担金)	246,407			
(うち長期前受金戻入)	143,092			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,234,271			
2 経常費用	2,234,271			
(1) 医業費用	2,148,170			
職員給与費	1,367,058	83.9	55.7	61.3
材料費	139,292	8.5	24.7	17.6
(うち薬品費)	70,324	4.3	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	68,893	4.2	11.0	8.2
減価償却費	233,526	14.3	9.0	10.2
経費	403,600	24.8	23.3	30.5
(うち委託料)	271,888	16.7	11.5	13.0
研究研修費	3,535			
資産減耗費	1,159			
(2) 医業外費用	86,101			
(うち支払利息)	28,946	1.8	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-189,882			
純損益	-189,882			
累積欠損金	2,434,333			
経常収支比率	91.5		97.7	96.5
医業収支比率	75.9		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	18.5		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	23.3		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	18.5		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	74.5		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,709,340
1 固定資産	3,483,324
(1) 有形固定資産	3,416,021
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	67,303
2 流動資産	226,016
(1) 現金及び預金	9,142
(2) 未収金及び未収収益	210,673
(3) 貸倒引当金()	7,200
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,101,867
1 固定負債	995,786
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	995,786
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	410,309
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	230,010
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	87,340
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	82,017
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	695,772
(1) 長期前受金	1,778,681
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,082,909
資本合計	1,607,473
1 資本金	4,024,828
2 剰余金	-2,417,355
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,417,355
負債・資本合計	3,709,340
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	171,799	379,177
資本勘定繰入	125,994	136,175
計	297,793	515,352

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	149.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	千葉県
	市町村・組合名	東庄町
	病院名	国保東庄病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	3,818 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	3	看護配置	13:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	32	53.2	56.4	56.4
療養	48	68.3	65.2	67.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	80	62.3	61.7	63.0
平均在院日数(一般病床のみ)		16.5	15.1	21.1

設立団体の状況		
人口(人)	14,152	
決算規模(千円)	6,072,005	
標準財政規模(千円)	3,610,547	
財政力指数	0.47	
経常収支比率(%)	89.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.9
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.6
修正医業収益(千円)	856,060

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,060,437			
1 経常収益	1,060,437			
(1) 医業収益	895,234			
入院収益	302,923			
外来収益	461,781			
診療収入計	764,704			
その他医業収益	130,530			
(うち他会計負担金)	39,174			
(2) 医業外収益	165,203			
(うち国・都道府県補助金)	900			
(うち他会計補助・負担金)	112,826			
(うち長期前受金戻入)	48,263			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,067,710			
2 経常費用	1,067,710			
(1) 医業費用	1,011,704			
職員給与費	503,247	56.2	55.7	72.6
材料費	282,600	31.6	24.7	15.8
(うち薬品費)	244,588	27.3	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	35,886	4.0	11.0	5.6
減価償却費	45,874	5.1	9.0	11.1
経費	160,689	17.9	23.3	31.9
(うち委託料)	110,103	12.3	11.5	13.0
研究研修費	2,469			
資産減耗費	16,825			
(2) 医業外費用	56,006			
(うち支払利息)	15,971	1.8	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-7,273			
純損益	-7,273			
累積欠損金	981,076			
経常収支比率	99.3		97.7	97.4
医業収支比率	88.5		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	14.3		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	17.0		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	14.3		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	85.1		85.7	74.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,172,966
1 固定資産	794,811
(1) 有形固定資産	775,885
(2) 無形固定資産	187
(3) 投資その他の資産	18,739
2 流動資産	378,155
(1) 現金及び預金	222,814
(2) 未収金及び未収収益	146,601
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	8,740
3 繰延資産	-
負債合計	852,367
1 固定負債	556,806
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	556,806
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	227,989
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	76,121
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	119,986
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	67,572
(1) 長期前受金	472,428
(2) 長期前受金収益化累計額()	404,856
資本合計	320,599
1 資本金	1,301,675
2 剰余金	-981,076
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-981,076
負債・資本合計	1,172,966
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	179,270	152,000
資本勘定繰入	93,499	31,576
計	272,769	183,576

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	109.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	千葉県
				市町村・組合名	横芝光町
				病院名	東陽病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種	該当	
建物面積	6,433 m ²	指定病院の状況	救	輪	
診療科数	10	看護配置	10	: 1	
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	55	62.4	76.2	68.7
療養	40	51.1	61.1	66.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	95	57.4	69.4	67.5
平均在院日数(一般病床のみ)		17.3	16.4	14.7

設立団体の状況		
人口(人)	23,762	
決算規模(千円)	10,389,342	
標準財政規模(千円)	6,465,103	
財政力指数	0.47	
経常収支比率(%)	94.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.3
	将来負担比率(%)	10.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	60.2
修正医業収益(千円)	890,001

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,525,399			
1 経常収益	1,520,383			
(1) 医業収益	923,459			
入院収益	565,215			
外来収益	280,308			
診療収入計	845,523			
その他医業収益	77,936			
(うち他会計負担金)	33,458			
(2) 医業外収益	596,924			
(うち国・都道府県補助金)	48,004			
(うち他会計補助・負担金)	457,585			
(うち長期前受金戻入)	81,554			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5,016			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,532,896			
2 経常費用	1,532,896			
(1) 医業費用	1,478,949			
職員給与費	794,532	86.0	55.7	72.6
材料費	100,625	10.9	24.7	15.8
(うち薬品費)	47,926	5.2	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	50,967	5.5	11.0	5.6
減価償却費	155,877	16.9	9.0	11.1
経費	416,059	45.1	23.3	31.9
(うち委託料)	161,588	17.5	11.5	13.0
研究研修費	3,116			
資産減耗費	8,740			
(2) 医業外費用	53,947			
(うち支払利息)	2,015	0.2	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-12,513			
純損益	-7,497			
累積欠損金	1,245,104			
経常収支比率	99.2		97.7	97.4
医業収支比率	62.4		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	32.3		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	53.2		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	32.2		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	67.2		85.7	74.2

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,213,391
1 固定資産	2,869,664
(1) 有形固定資産	2,607,691
(2) 無形固定資産	209,068
(3) 投資その他の資産	52,905
2 流動資産	343,727
(1) 現金及び預金	154,788
(2) 未収金及び未収収益	184,768
(3) 貸倒引当金()	320
(4) 貯蔵品	4,491
3 繰延資産	-
負債合計	1,563,394
1 固定負債	267,199
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	259,041
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	8,158
2 流動負債	272,167
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	52,669
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	53,686
(6) リース債務	4,079
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	154,832
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,024,028
(1) 長期前受金	1,890,878
(2) 長期前受金収益化累計額()	866,850
資本合計	1,649,997
1 資本金	2,895,051
2 剰余金	-1,245,054
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,245,054
負債・資本合計	3,213,391
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	491,043	491,043
資本勘定繰入	134,254	134,254
計	625,297	625,297

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	134.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	千葉県
				市町村・組合名	鋸南町
				病院名	国保鋸南病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,389 m ²	指定病院の状況	救臨 輪		
診療科数	3	看護配置	13:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	32	73.8	63.3	77.1
療養	34	-	33.8	61.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	66	35.8	48.1	69.1
平均在院日数(一般病床のみ)		25.6	20.1	20.3

設立団体の状況		
人口(人)	8,022	
決算規模(千円)	4,280,743	
標準財政規模(千円)	2,793,438	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	95.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.4
	将来負担比率(%)	66.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	79,949			
1 経常収益	79,949			
(1) 医業収益	2,200			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	2,200			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	77,749			
(うち国・都道府県補助金)	760			
(うち他会計補助・負担金)	72,250			
(うち長期前受金戻入)	3,175			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	110,036			
2 経常費用	110,036			
(1) 医業費用	104,727			
職員給与費	-	-	55.7	72.6
材料費	-	-	24.7	15.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	5.6
減価償却費	30,315	1378.0	9.0	11.1
経費	74,243	3374.7	23.3	31.9
(うち委託料)	300	13.6	11.5	13.0
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	169	-	-	-
(2) 医業外費用	5,309	-	-	-
(うち支払利息)	1,323	60.1	1.4	1.7
(3) 特別損失	-	-	-	-
損益				
経常損益	-30,087			
純損益	-30,087			
累積欠損金	1,381,044			
経常収支比率	72.7		97.7	97.4
医業収支比率	2.1		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	90.4		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	3284.1		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	90.4		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	7.0		85.7	74.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	407,831
1 固定資産	394,288
(1) 有形固定資産	394,288
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	13,543
(1) 現金及び預金	13,115
(2) 未収金及び未収収益	428
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	111,175
1 固定負債	56,896
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	56,896
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	13,789
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,270
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	519
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	40,490
(1) 長期前受金	165,951
(2) 長期前受金収益化累計額()	125,461
資本合計	296,656
1 資本金	1,677,700
2 剰余金	-1,381,044
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,381,044
負債・資本合計	407,831
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	2.1
修正医業収益(千円)	2,200

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	70,880	72,250
資本勘定繰入	7,799	13,115
計	78,679	85,365

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	62774.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	千葉県
				市町村・組合名	香取市東庄町病院組合
				病院名	小見川総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	11,075 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	14	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	170	47.2	61.9	64.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	170	47.2	61.9	64.5
平均在院日数(一般病床のみ)		12.2	13.7	14.2

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	98.8
修正医業収益(千円)	1,087,342

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,373,548			
1 経常収益	1,275,538			
(1) 医業収益	1,154,485			
入院収益	673,094			
外来収益	391,786			
診療収入計	1,064,880			
その他医業収益	89,605			
(うち他会計負担金)	67,143			
(2) 医業外収益	121,053			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	80,839			
(うち長期前受金戻入)	26,916			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	98,010			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,972,040			
2 経常費用	1,176,252			
(1) 医業費用	1,100,815			
職員給与費	460,140	39.9	55.7	61.3
材料費	290,140	25.1	24.7	17.6
(うち薬品費)	55,946	4.8	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	227,343	19.7	11.0	8.2
減価償却費	34,607	3.0	9.0	10.2
経費	312,297	27.1	23.3	30.5
(うち委託料)	75,848	6.6	11.5	13.0
研究研修費	2,514			
資産減耗費	1,117			
(2) 医業外費用	75,437			
(うち支払利息)	6,261	0.5	1.4	1.6
(3) 特別損失	795,788			
損益				
経常損益	99,286			
純損益	-598,492			
累積欠損金	1,623,374			
経常収支比率	108.4		97.7	96.5
医業収支比率	104.9		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	11.6		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	12.8		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	10.8		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	95.9		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,946,939
1 固定資産	6,972,863
(1) 有形固定資産	6,492,449
(2) 無形固定資産	1,216
(3) 投資その他の資産	479,198
2 流動資産	1,974,076
(1) 現金及び預金	1,493,347
(2) 未収金及び未収収益	461,097
(3) 貸倒引当金()	882
(4) 貯蔵品	20,514
3 繰延資産	-
負債合計	7,484,445
1 固定負債	3,573,556
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,562,094
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	11,462
2 流動負債	3,322,368
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	66,644
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	6,531
(7) 一時借入金	2,550,000
(8) 未払金及び未払費用	699,193
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	588,521
(1) 長期前受金	972,393
(2) 長期前受金収益化累計額()	383,872
資本合計	1,462,494
1 資本金	3,076,969
2 剰余金	-1,614,475
(1) 資本剰余金	1,468
(2) 利益剰余金	-1,615,943
負債・資本合計	8,946,939
不良債務	1,281,648
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	135,199	147,982
資本勘定繰入	35,528	52,248
計	170,727	200,230

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	1,281,648	111.0
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	140.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	千葉県
		市町村・組合名	組合立国保成東病院
		病院名	国保成東病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	-	
決算規模（千円）	-	
標準財政規模（千円）	-	
財政力指数	-	
経常収支比率（%）	-	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	-
	将来負担比率（%）	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収益（千円）	-

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,794			
1 経常収益	9,794			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	9,794			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	9,794			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,794			
2 経常費用	9,794			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	57.0
材料費	-	-	24.7	24.5
(うち薬品費)	-	-	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	11.3
減価償却費	-	-	9.0	9.3
経費	-	-	23.3	22.1
(うち委託料)	-	-	11.5	11.1
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	9,794			
(うち支払利息)	9,794	-	1.4	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	96.4
医業収支比率	-		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	-		85.7	85.3

備考：「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	4,805	9,794
資本勘定繰入	60,539	151,891
計	65,344	161,685

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	千葉県
				市町村・組合名	国保国吉病院組合
				病院名	いすみ医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種	該当	
建物面積	11,669 m ²	指定病院の状況	救	感	輪
診療科数	13	看護配置	10	:	1
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	92	58.0	39.3	44.4
療養	48	71.0	64.3	70.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	1.9
計	144	60.7	46.5	51.9
平均在院日数(一般病床のみ)		18.0	15.7	16.6

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	72.9
修正医業収益(千円)	1,828,145

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,826,688			
1 経常収益	2,803,105			
(1) 医業収益	1,970,229			
入院収益	962,709			
外来収益	774,345			
診療収入計	1,737,054			
その他医業収益	233,175			
(うち他会計負担金)	142,084			
(2) 医業外収益	832,876			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	229,099			
(うち長期前受金戻入)	161,108			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	23,583			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,150,692			
2 経常費用	3,144,422			
(1) 医業費用	2,507,656			
職員給与費	1,228,491	62.4	55.7	61.3
材料費	319,034	16.2	24.7	17.6
(うち薬品費)	179,292	9.1	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	118,684	6.0	11.0	8.2
減価償却費	229,263	11.6	9.0	10.2
経費	722,217	36.7	23.3	30.5
(うち委託料)	150,543	7.6	11.5	13.0
研究研修費	4,085			
資産減耗費	4,566			
(2) 医業外費用	636,766			
(うち支払利息)	55,722	2.8	1.4	1.6
(3) 特別損失	6,270			
損益				
経常損益	-341,317			
純損益	-324,004			
累積欠損金	2,531,771			
経常収支比率	89.1		97.7	96.5
医業収支比率	78.6		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	13.2		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	18.8		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	13.1		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	77.3		85.7	80.7

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,080,880
1 固定資産	3,350,965
(1) 有形固定資産	3,216,915
(2) 無形固定資産	38,389
(3) 投資その他の資産	95,661
2 流動資産	729,915
(1) 現金及び預金	261,760
(2) 未収金及び未収収益	460,418
(3) 貸倒引当金()	514
(4) 貯蔵品	8,251
3 繰延資産	-
負債合計	3,764,397
1 固定負債	2,883,708
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,883,708
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	452,822
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	208,017
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	115,936
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	128,446
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	427,867
(1) 長期前受金	1,513,128
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,085,261
資本合計	316,483
1 資本金	2,841,714
2 剰余金	-2,525,231
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,525,231
負債・資本合計	4,080,880
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	341,101	371,183
資本勘定繰入	126,619	142,732
計	467,720	513,915

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	128.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	千葉県
				市町村・組合名	君津中央病院企業団
				病院名	君津中央病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	52,379 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地		
診療科数	32	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	636	80.6	82.6	83.9
療養	-	-	-	-
結核	18	15.4	15.9	12.6
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	660	78.1	80.1	81.2
平均在院日数(一般病床のみ)		11.4	11.4	11.5

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	93.2
修正医業収益(千円)	19,658,553

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	22,218,548			
1 経常収益	21,931,080			
(1) 医業収益	19,814,273			
入院収益	13,632,584			
外来収益	5,511,622			
診療収入計	19,144,206			
その他医業収益	670,067			
(うち他会計負担金)	155,720			
(2) 医業外収益	2,116,807			
(うち国・都道府県補助金)	379,422			
(うち他会計補助・負担金)	1,322,280			
(うち長期前受金戻入)	93,481			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	287,468			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	22,886,939			
2 経常費用	22,576,954			
(1) 医業費用	21,092,624			
職員給与費	8,956,729	45.2	55.7	49.1
材料費	5,929,044	29.9	24.7	29.1
(うち薬品費)	1,880,059	9.5	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,952,143	19.9	11.0	12.7
減価償却費	1,430,357	7.2	9.0	8.4
経費	4,658,734	23.5	23.3	20.7
(うち委託料)	1,300,872	6.6	11.5	11.6
研究研修費	84,806			
資産減耗費	32,954			
(2) 医業外費用	1,484,330			
(うち支払利息)	210,694	1.1	1.4	1.2
(3) 特別損失	309,985			
損益				
経常損益	-645,874			
純損益	-668,391			
累積欠損金	137,071			
経常収支比率	97.1		97.7	98.8
医業収支比率	93.9		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	6.7		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	7.5		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	6.7		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	90.6		85.7	89.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	25,296,051
1 固定資産	19,025,978
(1) 有形固定資産	18,641,527
(2) 無形固定資産	29,086
(3) 投資その他の資産	355,365
2 流動資産	6,270,073
(1) 現金及び預金	2,682,272
(2) 未収金及び未収収益	3,508,120
(3) 貸倒引当金()	20,759
(4) 貯蔵品	84,531
3 繰延資産	-
負債合計	21,417,738
1 固定負債	15,931,891
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,697,786
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,234,105
(7) リース債務	-
2 流動負債	4,017,538
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,497,579
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	637,090
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,771,723
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,468,309
(1) 長期前受金	4,217,559
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,749,250
資本合計	3,878,313
1 資本金	3,166,108
2 剰余金	712,205
(1) 資本剰余金	16,551
(2) 利益剰余金	695,654
負債・資本合計	25,296,051
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,922,196	1,478,000
資本勘定繰入	1,380,283	71,000
計	3,302,479	1,549,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	0.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	千葉県
	市町村・組合名	君津中央病院企業団
	病院名	君津中央病院大佐和分院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	2,116 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	10	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	36	89.6	88.6	87.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	36	89.6	88.6	87.7
平均在院日数(一般病床のみ)		17.7	16.3	17.8

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	94.6
修正医業収益(千円)	642,738

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	689,479			
1 経常収益	689,479			
(1) 医業収益	642,738			
入院収益	341,229			
外来収益	275,860			
診療収入計	617,089			
その他医業収益	25,649			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	46,741			
(うち国・都道府県補助金)	3,624			
(うち他会計補助・負担金)	22,000			
(うち長期前受金戻入)	4,432			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	696,149			
2 経常費用	695,387			
(1) 医業費用	679,102			
職員給与費	308,008	47.9	55.7	80.8
材料費	67,475	10.5	24.7	13.8
(うち薬品費)	23,838	3.7	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	35,652	5.5	11.0	4.9
減価償却費	38,922	6.1	9.0	12.9
経費	261,809	40.7	23.3	47.4
(うち委託料)	33,467	5.2	11.5	20.7
研究研修費	1,400			
資産減耗費	1,488			
(2) 医業外費用	16,285			
(うち支払利息)	-	-	1.4	1.3
(3) 特別損失	762			
損益				
経常損益	-5,908			
純損益	-6,670			
累積欠損金	6,670			
経常収支比率	99.2		97.7	96.7
医業収支比率	94.6		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	3.2		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	3.4		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	3.2		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	96.0		85.7	64.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	25,296,051
1 固定資産	19,025,978
(1) 有形固定資産	18,641,527
(2) 無形固定資産	29,086
(3) 投資その他の資産	355,365
2 流動資産	6,270,073
(1) 現金及び預金	2,682,272
(2) 未収金及び未収収益	3,508,120
(3) 貸倒引当金()	20,759
(4) 貯蔵品	84,531
3 繰延資産	-
負債合計	21,417,738
1 固定負債	15,931,891
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,697,786
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,234,105
(7) リース債務	-
2 流動負債	4,017,538
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,497,579
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	637,090
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,771,723
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,468,309
(1) 長期前受金	4,217,559
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,749,250
資本合計	3,878,313
1 資本金	3,166,108
2 剰余金	712,205
(1) 資本剰余金	16,551
(2) 利益剰余金	695,654
負債・資本合計	25,296,051
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	92,621	22,000
資本勘定繰入	20,589	-
計	113,210	22,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	0.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	千葉県
	市町村・組合名	長生郡市広域市町村圏組合 (事業会計分)
	病院名	公立長生病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	12,701 m ²	指定病院の状況	救臨 輪
診療科数	15	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	180	51.2	52.7	53.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	180	51.2	52.7	53.8
平均在院日数(一般病床のみ)		15.3	14.7	12.8

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	74.7
修正医業収益(千円)	2,287,306

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,241,163			
1 経常収益	3,241,163			
(1) 医業収益	2,435,384			
入院収益	1,349,063			
外来収益	808,870			
診療収入計	2,157,933			
その他医業収益	277,451			
(うち他会計負担金)	148,078			
(2) 医業外収益	805,779			
(うち国・都道府県補助金)	13,670			
(うち他会計補助・負担金)	628,615			
(うち長期前受金戻入)	109,763			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,173,860			
2 経常費用	3,165,707			
(1) 医業費用	3,062,809			
職員給与費	1,830,899	75.2	55.7	61.3
材料費	424,400	17.4	24.7	17.6
(うち薬品費)	241,418	9.9	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	182,982	7.5	11.0	8.2
減価償却費	197,962	8.1	9.0	10.2
経費	600,867	24.7	23.3	30.5
(うち委託料)	237,340	9.7	11.5	13.0
研究研修費	4,546			
資産減耗費	4,135			
(2) 医業外費用	102,898			
(うち支払利息)	8,354	0.3	1.4	1.6
(3) 特別損失	8,153			
損益				
経常損益	75,456			
純損益	67,303			
累積欠損金	4,318,983			
経常収支比率	102.4		97.7	96.5
医業収支比率	79.5		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	24.0		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	31.9		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	24.0		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	77.8		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,510,513
1 固定資産	2,720,458
(1) 有形固定資産	2,606,087
(2) 無形固定資産	115
(3) 投資その他の資産	114,256
2 流動資産	790,055
(1) 現金及び預金	395,976
(2) 未収金及び未収収益	358,820
(3) 貸倒引当金()	18,704
(4) 貯蔵品	53,963
3 繰延資産	-
負債合計	2,945,390
1 固定負債	451,131
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	409,054
(2) その他の企業債	42,077
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	329,840
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	57,270
(2) その他の企業債	10,428
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	121,766
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	115,256
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,164,419
(1) 長期前受金	4,653,493
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,489,074
資本合計	565,123
1 資本金	4,877,606
2 剰余金	-4,312,483
(1) 資本剰余金	3,500
(2) 利益剰余金	-4,315,983
負債・資本合計	3,510,513
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	461,120	776,693
資本勘定繰入	210,310	210,310
計	671,430	987,003

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	177.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。